



こんの ひろふみ
今野裕文
(日本共産党)

● 行政による周辺住民の不安解消を

質問

市長は官民協働型政策提言組織（シンクタンク）提言を盛り込んだ第2次行財政改革大綱の実行を強調している。これ

では理念だけが先走り、いま周辺部から上がっている住民の皆さんの不安を解消する具体策を打ち出す事ができないと思う。

こういう状況を払拭しなければ、協働のまちづくりはできないのではないかと考える。そこで

①市町村合併に何を期待したのか。

②市民の間では、「地方が切り捨てられる」という不安が広がっているが、どう考えているか。

③このような市民の不安の声に、どのように応えようと考えているか。

④これらの現状を踏まえて、予算編成を行うと思うが、その方針は。

市長

①②国・地方の抱える借金額などから、組織の大改革・資源の集中で、効率的に市民の福祉向上にまわすための仕組み作りをしなければならないと考



統廃合が取りざたされているひめかゆスキー場

えた。多様化する住民の願いや広域的行政需要に対応できる自治体になるため行財政運営の基盤を確立する。③統一的な考え方で市政を進めていこうとする場合に、市民の皆さんに不安を与えていると考える。地域振興会など通じて、意見を伺う機会をさらに徹底し、地域の皆様の声をお聞きしながら不安解消に努めていく。④各種計画に位置づけられた事業に予算を盛り込み、経常経費の削減、将来負担の軽減、類似施設の統合、事業の統合など、合併のスケールメリットを追求し、安定的な財政運営を確立していく。



いいが かずや
飯坂一也
(公明党)

● 空き家対策の実施を！ ● 着実な道路の安全対策を！

質問

少子高齢化と人口減少時代の到来のなかで、空き家は増加傾向にある。雑草の繁茂・不法投棄・害虫の発生・塀の倒壊など近隣にさまざまな悪影響を及ぼす。市内の実態を把握すべきと考えるが。

市長 総務省が平成20年度に行った調査では、市内に空き家は別荘などを除き2480戸あり、その内、腐朽・破損ありは1020戸である。

質問 地域での困りごとを把握するためには、町内会や自治会などにアンケートを実施する、市民を交えた対策検討委員会を立ち上げる、実態のデータベース化など、具体的な対策を打つべきと考えるが。

市長 課題の一つとして、しっかりと認識している。地域で解決すべきこととして、助言や指導を図っていく。

質問 地域の要望のトップは、道路の改良・危険箇所への対策である。要望に対する取り組みの状況と内容を公表（見える化）すべきではないか。また、今回実施された教育委員会・土木課



空き家への具体策を早急に！

・警察の合同での取り組みを継続していくのか。

市長 事業評価シートを活用し、地域バランス等を考慮しながら優先順位を定めている。予算配分に関しても、地域要望により対応できるようにしていく。

教育委員長

通学路における危険性の高い箇所について緊急合同点検を実施した。その結果を土木課で対策一覧表と対策箇所図を作成し、ホームページで公表した。合同点検の継続に関しては、今後検討する。